

第24回 全国街路事業 コンクール応募資料

平成24年1月

応募者名：松山市

事業の名称：都市計画道路『土手内中西外線』

実施都市名：松山市

事業目的

主要幹線道路である国道196号と県道湯山北条線を東西方向に結ぶ街路であり、路線途中の四国旅客鉄道予讃線との立体交差化により、市街地分断や踏切事故等の解消を図る。

また、北条地区の中心市街地道路網の骨格を形成し、観光客や買物客の安全性の確保だけでなく、災害時の緊急輸送路としての役割も担い、安心して暮らせる魅力的なまちづくりに寄与するものとして整備を実施した。

事業概要

事業名称:都市計画道路『土手内中西外線』

路線名:土手内中西外線

事業箇所:松山市

事業延長:L=960m

幅員:W=(6.0)16.0m(2車線)

事業費:約38億円

事業実施期間:平成14年度～平成22年度

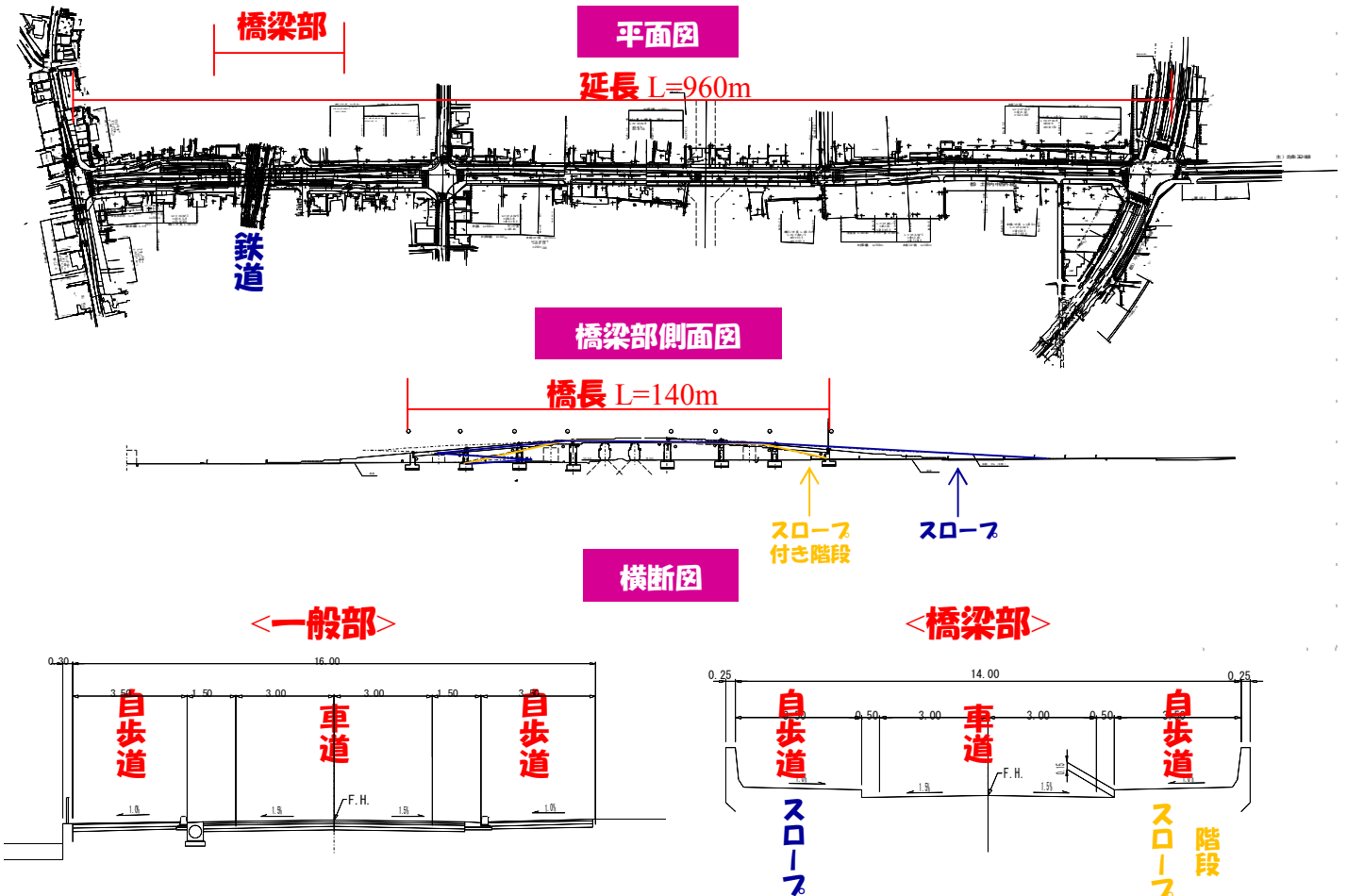
本事業は、国道196号松山北条バイパスから県道湯山北条線間を東西に960m整備したものである。道路区分は第4種第2級、車線数は2車線、自転車歩行者道路を両側に配している。

路線途中には、四国旅客鉄道予讃線を跨ぐ140mの跨線橋を新設し、両側に階段とスロープを配している。これにより、歩行者・自転車・車いす等安全に利用することができる。

事業位置図

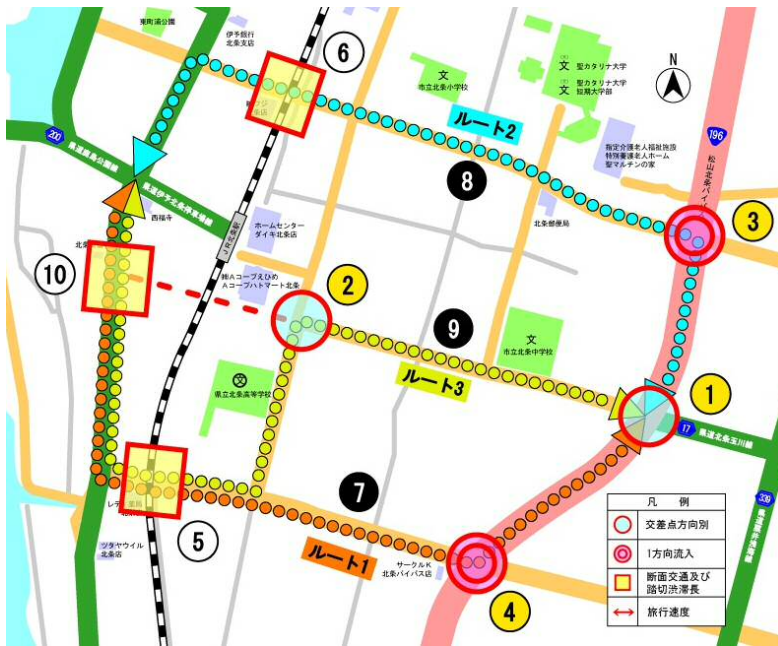


全体図(平面図・側面図・横断面図)



土手内中西外線の整備効果アピール資料

<交通量調査箇所>



<道路整備完成写真>



○事業概要

事業名:都市計画道路『土手内中西外線』
 路線名:土手内中西外線
 事業箇所:松山市
 事業延長:L=960m
 幅員:W=6.0(16.0)m 2車線
 総事業費:約36億円
 事業期間:H14年度～H22年度

○交通量調査結果

供用前 平成22年9月28日(火)実測
 供用後 平成23年9月28日(水)実測
交通量の推移(断面・12h当り)

①～② 2480台→3405台 **925台増↑**
 ②～⑩ 0台→2310台 **2310台増↑**
 断面⑤ 3569台→2122台 **1447台減↓**
 断面⑥ 2340台→1989台 **351台減↓**

「整備効果」

○渋滞長の減少(踏切部)

断面⑤ 土手内踏切
 朝 50m→**10m** 夕 90m→**40m** (各ピーク時最大滞留長)
 断面⑥ 北条踏切
 朝 20m→20m 夕 50m→**10m** (各ピーク時最大滞留長)

○歩行者・自転車交通量の増加

断面② 420人→470人 **50人増↑**

○「その他の事業効果」

- ・自歩道付き道路の整備により安全安心に通行でき、通学路としても利用されている。
- ・平常時、ピーク時ともに既設ルート of 平均旅行時間が減少した。
- ・北条地区、市内中心部への回遊性が向上した。

事業前写真

①平成19年5月撮影



②平成21年3月撮影



③平成22年7月撮影



事業後写真

①平成24年1月撮影



②



③平成24年1月撮影



④平成24年1月撮影

